

平成29年度 七葉小学校 グランドデザイン

【教育目標】 **自分を高め みんなとともに 生きる子ども**



笑顔あふれる七葉

【知】
ともに学び合い、確かな学力を身に付ける子ども

【徳】
あたたかな人間関係を築ける子ども

【体】
すすんで運動し、健康的に生活する子ども

＜今年度の重点目標＞

- ・考えを伝え合い、話し合いを深める。
- ・学習意欲を高める。

＜成果目標＞

- ①国語・算数の単元評価テストで、学級平均が全国平均を上回る回数が全実施回数の80%以上。
- ②「10×学年」分以上の家庭学習に週6日以上取り組めた児童の割合が、80%以上。

＜アンケートの結果から評価＞

＜今年度の重点目標＞

- ・自分や友達によさに気付く。
- ・気持ちのよいあいさつを交わし合う。

＜成果目標＞

- ①「自分によさがある」に肯定的評価をする児童の割合が、80%以上。
- ②「友達によさを伝えることができた」に肯定的評価をする児童の割合が、90%以上。
- ③「相手を見てあいさつをすることができた」に肯定的評価をする児童の割合が、80%以上。

＜アンケートの結果から評価＞

＜今年度の重点目標＞

- ・目標をもって運動に取り組む。
- ・生活習慣への関心を高める。

＜成果目標＞

- ①6月実施の体力テスト結果と比較して、長座体前屈の記録が向上した児童の割合が、80%以上。
- ②「つくつくシャキットチャレンジ」でメディアの時間を2時間以内（睡眠1時間前にはやめる）平日すべて達成できる児童の割合が、80%以上。

＜チャレンジカードの結果から評価＞

人権意識の高揚、人権感覚の醸成（知徳体のすべてを支えるもの）

〈自他の大切さを認め合う態度・行動〉 〈相手を尊重する態度〉 〈自分自身の言動を問い続ける感性〉

児童・保護者・地域と職員との信頼関係

「人権教育、同和教育」

「道徳教育」

「自分を」「みんなを」大切に作る心の育成
「道徳」授業の改善・充実
「人権学習」の充実

分かる授業

めあての板書・ノート指導
学び合いの場の充実
振り返り
まとめ

縦割り班活動

リーダーとしての活躍の場
互いのよさを認め合う場
なかよしタイム・振り返りの場
対話と傾聴

規範意識

「七葉小のやくそく」
社会性スキル

自己有用感の醸成

過程をほめる
伸びを認める

感動体験

修学旅行・自然教室・防災教育キャンプ
「人との出会いから学ぶ学習」
地域貢献活動・国際理解教育・食育活動・スキー授業・そり遊び

○地域を愛する子どもの育成

地域の自然・地域の方々とかかわり、学ぶことによって、地域を愛する子どもを育てます。

○保護者との連携

教育活動を通して明らかとなった子どもたちのよさや課題をお知らせし、学校と家庭が協力して子どもたちのよりよい成長のために取り組んでいけるよう努めます。

○七葉中・菅谷小・ななは保育園との連携

「人権教育、同和教育」共通指導計画に基づいて、保・小・中の連携を深め、人権意識を高めていきます。

学習規律や基本的生活習慣について、三校で連携した指導を行います。生活指導を中核として社会性スキルを身につけさせ、中1ギャップの解消に努めます。

○保護者・地域への情報提供

- ・学校だより「要害山」「七葉小通信」
- ・人権教育、同和教育だより「わになって」
- ・学校広報誌「はばたき」 ・携帯メールの配信
- ・七葉小学校ホームページ <http://nanaha-e.shibata.ed.jp/>